



公明党 深沢 誠 議員

幼児教育について

問 将来的に、山武市子どもの貧困対策推進計画策定も視野に入れた上で、早期に第2期山武市子ども・子育て支援事業計画を策定し、実施すべきと考えるがどうですか。

答 保健福祉部長 妊娠・出産期から、子どもの社会的自立までの切れ目のない支援や、支援が届かない、または届きにくい子どもの家庭への配慮など、支援を必要とする子どもや家庭を孤立させることなく、しっかりと取り組んでいきたいと考えています。

防災について

問 福祉避難所設置の周知について伺います。

答 総務部長 災害時に特別な配慮が必要な方で、避難について確認したいことがありましたら、まずは市に

相談していただきたいということ、広報紙、回覧板、安心安全メール等で周知をしていきたいと考えています。

問 自主防災組織強化について伺います。

答 総務部長 自主防災組織の機能向上のために、自主防災組織・区を対象として、勉強会、防災講話等を行い、地域で起こり得る災害、自助、互助の重要性、避難・避難所運営における自主防災の役割等について説明をしています。

問 倒木の処理や森林再生、また重要インフラへの倒木防止対策への市の具体的な取り組みを伺います。

答 経済環境部長 令和2年度より、国・県の補助事業の拡充や新規事業が創設される予定です。

市としては、引き続き、県などの関係機関と連携を図るとともに、令和2年度より、森林づくり審議会を新たに設置し、各補助制度や新規事業の活用方法、県が行うリモート・センシング調査(衛星写真)の結果等を活用し、市の目指す森林整備や森林づくりを進めていきたいと考えています。



適切な森林整備が望まれる

関連質問



公明党 市川 陽子 議員

令和2年度予算(案)について

問 部別予算枠による資源配分調整方式に改めた経緯と効果を伺います。

答 総務部長 施策枠予算編成では、同じ施策の中に複数の部で所管する事業が混在し、組織間の調整作業や、各施策内での調整箇所の硬直化で、一層の調整が困難でした。部別予算枠では、各部長の責任のもと、目標達成に向けた事業の見直しが期待できます。

問 税収が減少する中、各事業を確実に進めていくための削減目標額やシーリング率10%を決定した経緯について伺います。

答 総務部長 歳入見込額に対し、仮の要求額が約2億6千万円超過し、人件費、扶助費などの義務的経費や必要な投資的経費を除く、調整可能な経費から超過分を削減する必要があります。要求内容の見直しを実施しています。

幼児教育について

問 保育士について、勤務時間に制約があり、朝、夕、土曜日の勤務ができない職員もいるため、時間外勤務の対応が負担となるのではないかと。保育環境についての方向性を伺います。

答 市長 保育士の仕事は、人が人を預かり、人を育てる仕事であり、法令上の人数だけでは、計れない現場の先生方の苦勞もあると認識しています。今後も安定的な保育サービス提供に創意工夫して、人材の確保や質の向上に努めます。

問 子育てアプリは、どのような情報を発信しているのか伺います。

答 保健福祉部長 スマートフォンやタブレット端末で、簡単にサポートできます。市のイベント情報や子育て制度、就学援助制度などのお知らせ、病院、公園、子育て施設の案内、予防接種スケジュールのお知らせ、母親の健康記録や子どもの成長記録の管理、感染症等の緊急情報をプッシュ通知します。

問 会津若松市はマイナンバーカードを利用し母子健康情報ポータルを提供しているが、市での導入はどうか。

答 保健福祉部長 事例や利用者からの意見を参考に、利用しやすい環境づくりに努めます。